



ネイチャーセンターだより

2025年7・8月号

新・いきもの図鑑



写真は幼鳥。昨年8月に撮影。

【参考文献】
環境省. 2014. レッドデータブック 2014 日本絶滅のおそれのある野生生物 2 鳥類. ぎょうせい.
認定 NPO 法人バードリサーチ. シロチドリ繁殖状況調査.
https://www.bird-research.jp/1_katsudo/shiro_chidori/index.html (2025/6/19 閲覧)

シロチドリ (チドリ科)

春から初秋まで見られる夏鳥です。砂浜や干潟などに生息し、繁殖は、砂地に小石そっくりの目立たない卵を産みます。巣やヒナに危険が迫ると、親鳥は自分がケガをしたふりをして捕食者の目を引き付ける擬傷を行います。春国岱でも海岸草原や砂浜で子育てをしていることがありますので、見かけたときはそっとその場を離れるようにしましょう。

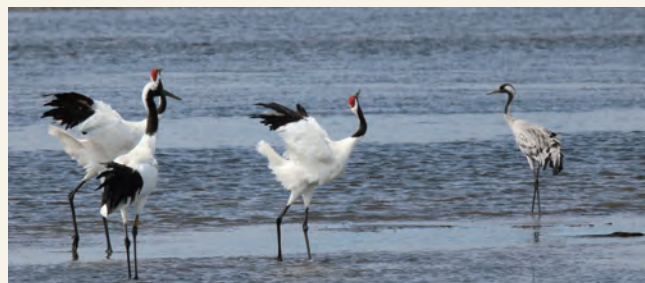
国内での個体数は 30 年前と比べて約 80% も減少しており、絶滅の危険が増大している種（絶滅危惧Ⅱ類）に指定されています。減少の原因は、開発などによる全国的な砂浜の減少のほか、犬の散歩を含むレジャー活動などによる繁殖地への人の立ち入り、車両による営巣地かく乱などがあげられています。春国岱がシロチドリにとっての生息地として残るよう、砂浜に小さな鳥がいることもぜひ知ってください。

タンチョウではないツル、クロツル飛来

NEWS

5月10日の開館前、レンジャーがネイチャーセンターから春国岱を見ていると、風蓮湖内の干潟にタンチョウとは違うツルがいるのを見つけました。灰色の羽の姿に、最初は道東で度々飛来が確認されているマナヅルか？カナダヅルか？などと思いましたが、しかし、どちらとも少し違い、あわてて図鑑をひらくと、なんとクロツルでした。レンジャーが春国岱に確認に行くと、タンチョウ3羽と一緒に干潟で食事をしていました。時折、タンチョウに追いかけられる様子も観察されましたが、追い払われるほどではなく、適度な距離を取って一緒にいるようでした。13日まで風蓮湖内や春国岱周辺の根室湾で観察されましたが、その後は見ていません。

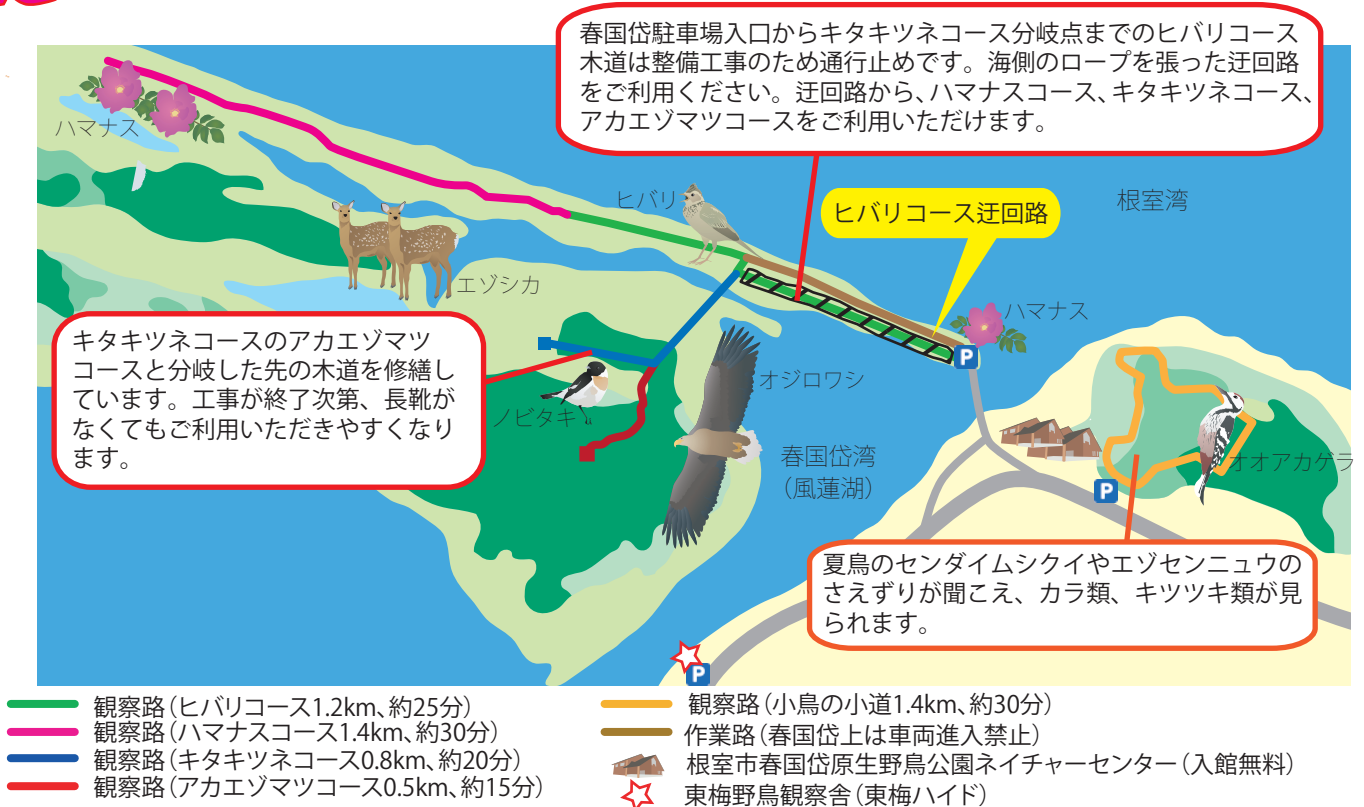
クロツルはユーラシア大陸に生息する鳥で、日本では鹿児島県出水地方で毎年数羽が越冬していますが、他の地域ではまれにしか見られない鳥です。道内での目撃は増えているようですが、ネイチャーセンターで調べた限りでは、根室で見られたのは今回が初めてようです。



◀タンチョウ3羽（左）と
クロツル（右）

見どころMAP

- ★虫が多い季節です！散策時は肌を出さない服装、帽子の着用、虫よけスプレーの使用など、対策をしましょう。
- ★キタキツネコースのアカエゾマツコースとの分岐点より先は長靴が必要です。



7・8月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	少数が風蓮湖周辺で子育てをしています。干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られます。8月になると巣立った幼鳥が観察できるかもしれません。
タンチョウ	○	春国岱周辺の干潟などで採食している姿や、休む姿が見られます。ヒナを育てているつがいなどはとても神経質になる時期なので、落ち着かない様子のタンチョウがいたらすぐに離れてください。ネイチャーセンター東側の温根沼大橋周辺で5羽前後のタンチョウの群れが見られることがあります。
アオサギ	○	多い時は200羽近くが春国岱に集まり、干潮時に水辺で魚を捕らえる姿が見られます。最盛期は、8月～9月。夕方になると、群の一部が自然学習林に移動して休んでいることがあります。
シギチドリ類	+	繁殖を終えたシギ・チドリ類が7月下旬から渡来し始め、風蓮湖や根室湾の干潟で採食する様子が観察できることがあります。メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、キアシシギ、トウネンなどが見られます。
春国岱	野鳥 (森)	鳥たちのさえずりは、あまり盛んではなくなりますが、ルリビタキ、ミソサザイなどの声が聞かれます。
	野鳥 (草原)	海岸の草原ではヒバリのさえずりがよく聞かれます。湿原では、マキノセンニュウやシマセンニュウ、ノビタキ、オオジュリンなどのさえずりが聞かれます。巣立った幼鳥と出会うこともあります。
	花	ハマナスの花は7月中旬ごろまでで、下旬には実がつけます。7月はマルバトウキ、ウミミドリ、エゾハコベが見頃です。8月にはウンラン、エゾオグルマ、ナミキソウなどが見られます。
自然学習林	野鳥	センダイムシクイ、ミソサザイ、エゾセンニュウなどのさえずりが聞かれることがあります。ハシブトガラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、コムドリ、キツツキ類 (アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ) が見られます。
	花	ミゾホオズキ、エゾフウロ、キツリフネ、サルナシ、ハシドイ、エゾトリカブト、ハンゴンソウ、チドリケマン、ヤマハハコ、ゲンノショウコなどが見られます。
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。スズメバチにご注意ください。マダニ・カ・ヌカカが多い時期です！虫よけ剤の塗布、肌を出さない服装をおすすめします。

そっくりさんばかりのセリ科植物

6月に一部メディアで、北海道大学札幌キャンパスにて国内未確認種で有毒の「バイカルハナウド」とみられるセリ科植物が見つかったことが報道されました（6月25日現在、見つかった植物がバイカルハナウドであると同定された報道は出ていません）。報道をご覧になった方の中には、似た植物を見たことがあるという方もいるかもしれません。

セリ科植物の多くは夏に白い花を咲かせ、見た目もよく似た種が多くあります。また、足元くらいの小さなものから、人の背丈を超える大型のものまで多様な種があり、よく知られたものだと、ミツバやセリもセリ科植物です。春国岱や東梅自然学習林でもさまざまなセリ科植物が見られます。その中から、目につきやすい3種を紹介します。

【マルバトウキ】春国岱駐車場やヒバリコースでよく見られ、高さ1m以内の小型種。茎は細く、葉に光沢があるのが特徴で、海岸や低地で見られます。



【エゾノシシウド】春国岱キタキツネコースやハマナスコースで見られ、高さ1mを超えることもあります。葉に光沢があり、葉の表面にしわが多いことも特徴です。



【オオハナウド】東梅自然学習林で見られ、根室地方で最も一般的なセリ科植物のひとつです。2m近くにもなる大型種で、有毛。市内の道路沿いにもよく見られます。



バイカルハナウドは毒性についても報じられていますが、毒をもつ植物は在来植物にも多くあります。過剰に恐れず、この機会にぜひ植物に興味をもっていただき、自然を楽しんでほしいと思います。

【参考文献】松下ほか、2004、根室地方セリハンドブック、ニムオロ自然研究会。

春国岱クイズ

6月上旬、春国岱で野鳥の調査を行っていたとき、風蓮湖でふしぎなものを見つけました。レンジャーも初めて見るもので、正体が全くわからなかったの、写真だけ撮って、戻って調べてみることにしました。

さて、その正体は次のうちどれだったでしょうか？

- ① トウモロコシ（とうきび）の芯
- ② 貝の卵囊（たまご）
- ③ ミズバショウの花の一部
- ④ ふやけた松ぼっくり

<ふしぎなものの情報>

- ・ 大きさ：長さ10cm、太さ3cm くらいの細長い棒状
- ・ 色：白のような黄色のような感じ
- ・ 見た目：表面はデコボコ
- ・ 状態：片方がアサリの貝がらにくっついていて、もう片方にはエゾバイ科の貝がついていた。周りを見ると、湖底からも同じものがのびているのを見つけた。



▲見つけたふしぎなもの

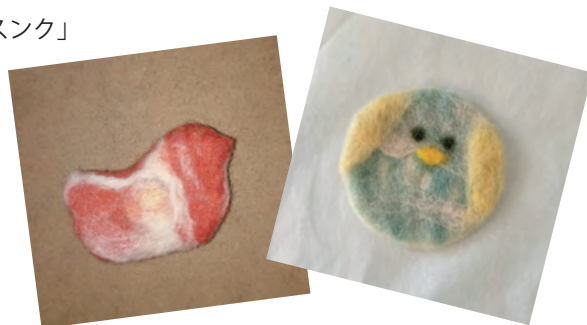
春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

◆7/21 羊毛フェルトで小物づくり

羊毛フェルトと石鹸水^{せっけんずい}を使って小鳥などをモチーフにした小物づくりを行います。

- ◇日時：2025年7月21日(月・祝)10:00～12:00
- ◇場所：春国岱ネイチャーセンター
- ◇受付：時間中随時(予約不要)
- ◇対象：どなたでも(小学生以下は保護者ご同伴)
- ◇定員：20名(先着順)
- ◇持ち物：大きめのタオル(フェルトの水分をとったり、手を拭いたりするため)
- ◇参加費：1人100円
- ◇主催：ボランティアグループ「スंक」

**事前申込
不要!**



【問合せ】
春国岱ネイチャーセンター
電話：0153-25-3047
Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp



コースターやマグネット、
クリップなどがつくれます

募集!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動してくださる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放し放しすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします



クイズのこたえ ②。エゾバイ科の貝の卵囊(らんのお)で、この中にたくさんの卵が入っています。片方にくっついてたエゾバイ科の貝は、もしかしたら産卵中だったのかもしれない。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
TEL: 0153-25-3047 FAX: 0153-25-8570
Eメール: nemu_nc@marimo.or.jp



HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆開館時間 9:00～17:00

◆休館日：7月2・9・16・22・23・30日

8月6・12・13・20・27日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制・2週間前までにご連絡ください)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNSでも最新の自然情報
を発信しています!



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録【今年で登録20周年】